



伝統と継承 そして

自分の心と向き合うこと



私たちには誇れるものがたくさんあります。それは地域の先人や先輩たちから脈々と受け継がれ「伝統」となり、今もなお私たちの心の支えになっています。そしてそれぞれの場面で、自分自身のあり方や地域・歴史のありがたさに思いを寄せる大切な機会となっているのです。この1か月間、実に多くのことを経験することができました。先月末から現在に至るまで、いくつかその様子を紹介いたします。

① ワカメ体験学習

ワカメの芯さき作業や出張販売は、地元が誇る産業についても理解を深めることができる体験です。9年生の先輩から手取り足取り指導された後輩たち。製品となるまでの工程について身をもって知ることができました。また、今年度は修学旅行が中止となったため、東京都内での販売ができませんでしたが、大槌町役場の皆さまのご理解とご協力により、9年生による出張販売を実施することができました(9/30)。多くの皆さまにお買い求めいただき、あっという間に完売できたようです。本当にありがとうございました。昨年度はコロナウィルス感染拡大予防のため、生徒たち自身の手で作業できない部分がありましたが、今年度はこの経験を活かした学習を深めていきたいものです。

② 郷土芸能活動(虎舞)・合唱披露

吉里吉里地区に伝わる伝統ある郷土芸能活動も盛んに行われてきていたわけですが、これも郷土芸能発表会の中止により、なかなか発表の機会を得ることができていませんでした。その状況を打破すべく、今年度は『郷土芸能・合唱披露会』を10月22日(木)に実施することを企画し、全校一丸となって取り組みました。虎舞講中の皆さまに数回にわたってご指導いただき、初めて取り組んだ生徒も当日までには見違えるような動きや演奏をできるまでになりました。合唱についてもリーダーを中心に、「心に届く合唱」を創り上げてくれました。小学部の皆さんと、思い出の「学校坂道」も合唱することができたことは大変感慨深いです。郷土の誇る伝統芸能に積極的に関わっていく姿勢や守り伝えていく大切さを一層強めていきます。

③ 生徒会役員選挙

「私は〇〇な学校にしたいです。そのためには…」新生徒会役員に立候補した9名の言葉には“力”がありました。それは、“自分たちの学校を創っていく”という決意だと感じました。真似るだけでは物足りない、目新しいことだけ実行すればよいものでもない。やはりここでも「伝統と継承」がキーワードになりそうです。新しいリーダーたちに期待すると同時に、新生吉里中の船出に拍手を送ります。

<新生徒会リーダー> (敬称略)

役職名	氏名	学年
生徒会長	前川 学	8年
生徒会副会長	東谷 綺愛來	8年
生徒会副会長	金崎 潤矢	7年
書記長	石川 琉海	8年
書記次長	倉本 美侑	7年
生活専門委員長	芳賀 光希	8年
学習図書専門委員長	北田 昂太郎	8年
環境専門委員長	寺崎 瑠唯	8年
応援委員長	関谷 大成	8年



一緒に
がんばろう!

吉里中芸術祭& 郷土芸能・合唱披露会



想いは、とどく



